

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：36007
学校名：真駒内中学校

改訂のポイント		<p>○子どもたちが主体的に解決する課題探究的な学習を各教科で取り入れた授業の工夫を行う。</p> <p>○基礎的・基本的な知識技能について、個に応じた指導の充実を図る。よさや伸びを評価できる授業の工夫を行う。</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	<p>「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像</p>	<p>☆自ら学び考え、自己の可能性を追い求める生徒</p> <p>☆自ら意見を進んで発表し、活発な表現活動を行い、互いに高め合い、自らも成長しようとする生徒</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題工夫～生徒の学習意欲を喚起する授業作り ・教師間の授業交流 	<p>【成果】⇒・「共通指標」で、意欲に関する項目で数値にマイナスが見られるが、学校評価アンケートでは授業の分かりやすさの項目が85.3%の肯定的な回答を得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も全教科の授業交流を実施することができた。 	<p>【課題】</p> <p>◇自分の考えや意見を積極的に言える・書ける場面を工夫した授業の構築、自分に自信がもてるきめ細かな指導の実践が求められる。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の意見を進んで発表する」ための表現活動に伴い ICT 機器を有効に活用できる準備・計画の工夫 	<p>【成果】⇒ 旅的行事の学校祭でのプレゼンテーションの実施やキャリア教育の職場体験をタブレットやパワーポイントを使ってプレゼンテーションを行うことができた。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇各教科の授業の場面で、積極的な発表や ICT 機器を使う場面の工夫や設定</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手帳への日常及び学習活動への取組の記録やチームティーチングや学生ボランティアの有効活用 	<p>【成果】⇒ 「忘れないぞう」「school life」「フォーサイト手帳」への日常生活や学習の記録を各学年で実施した。IT 授業や学生ボランティアによる学習会を行うことにより、基礎的・基本的な知識技能の習得に取り組むことができた。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇共通指標「普段から計画を立てて勉強している」と「新しく習ったことを繰り返し練習している」の数値の向上を目指したい。</p>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>学習意欲を喚起する課題の設定・学びを自覚する振り返りの工夫、学習の到達状況が見える評価の明確化</p>		
	具体的な改善策（取組）	<p>○小中一貫による授業交流～</p> <p>○ICT教育の推進～</p> <p>○学習課題の工夫と評価規準の明確化～</p> <p>○学習の計画と記録～</p> <p>○TT 授業と学生ボランティアの活用～</p>	<p>夏の「授業体験」や冬の「授業見学」に加え、教師間の交流を行い主体的に学ぶ授業の構築を図る。</p> <p>「GIGA スクール構想」に向けて日常的に ICT を効果的に活用した学習活動ができる指導体制を整える。</p> <p>子どもの学習意欲を喚起する課題・授業の工夫及び学習のゴールを提示し、安心して学べる環境を整える。</p> <p>①「忘れないぞう」「フォーサイト手帳」へ自らの日常と学習の記録を積極的に言い、自己管理及び計画性が持てることを目指す。</p> <p>②夏季・冬季休業中の「生活リズムチェックシート」への取組と冬季休業中の「雪かきちょボラ」への取組の定着を図る。</p> <p>今必要な学習内容や学習の方法などを複数体制で授業を行うことにより、きめ細かに、また基礎・基本的なことも含め、知識技能の習得に努める。</p>	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○全国学力・学習状況調査の結果の分析や活用</p> <p>○札幌市実施共通指標（子どもの自己評価）の活用</p> <p>○学校評価アンケート（保護者及び生徒）の活用</p>		